

臓器別評価項目 胆嚢 腹腔鏡下胆嚢摘出術

ビデオ番号

審査委員氏名

胆嚢摘出術評価項目		採点
1. 胆嚢の把持挙上	3点～0点 (1点刻み)	点
1) 底部を患者の右肩方向に挙上牽引し、頸部を患者の尾側右方向に引き出すように牽引する。腹側背側を観察する <ul style="list-style-type: none"> ■ 底部の適切な挙上により視野が得られているか ■ 頸部の把持牽引により Calot's triangle が広く展開されているか ■ 背側腹側の確認が適切に行われているか ■ 胆嚢の挙上が困難な症例では展開の方法が適切か 		
2. 漿膜切開	6点～0点 (1点刻み)	点
1) ランドマークを確認する (3点) <ul style="list-style-type: none"> ■ ルビエル溝、S4 のベースラインを確認しているか ■ 肝十二指腸間膜において肝門から十二指腸上縁までを観察しているか 2) 漿膜を切開し腹側背側の漿膜を底部方向に切り上げる (3点) <ul style="list-style-type: none"> ■ 漿膜切開の開始の高さは適切か ■ 切開の方向や深さは適切か 		
3. Calot's triangle の剥離	8点～0点 (1点刻み)	点
1) 脈管損傷に注意しつつ脂肪組織を剥離する。胆嚢頸部から ss-i をランドマークとしながら漏斗部、胆嚢管へと連続して剥離する <ul style="list-style-type: none"> ■ デバイスの選択は適切か ■ 剥離操作は適切か ■ 剥離中における脈管に対する処置は適切か ■ 出血に対する止血操作は適切か ■ 腹側背側とも適切なトラクションにより良好に展開されているか 		
4. CVS の確認	4点～0点 (1点刻み)	点
1) 胆嚢に胆嚢管と胆嚢動脈だけが流入している。胆嚢床の下 1/3 が剥離され露出している <ul style="list-style-type: none"> ■ 胆嚢管と胆嚢動脈だけが流入しているか ■ CVS を腹側背側から確認しているか 		

5. 脈管処理	6点～0点 (1点刻み)	点	
1) 胆嚢動脈の切離 (3点) ■右肝動脈との誤認がないか ■クリップは適切か 2) 胆嚢管の切離 (3点) ■剥離は十分されているか ■クリップは適切か			
6. 胆嚢床からの剥離	7点～0点 (1点刻み)	点	
1) 視野の展開 (3点) ■胆嚢が適切に牽引されているか 2) 適切な層を保持して剥離 (4点) ■剥離層が一定であるか ■出血をコントロールしているか			
7. 胆嚢の回収	1点	0点	点
1) スムーズな回収 ■確実に回収袋に収納できているか			
8. 炎症の強さ	5点～0点 (0.5点刻み)	点	
1) 炎症性変化による手術難度に対する加点 ■癒痕化 (5点) から軽度浮腫 (0点) まで0.5点刻み			
手順全体の共通の落第項目	なし ・ あり(落第)		
■十二指腸・横行結腸など、他臓器における修復を要する損傷 ■胆管損傷 ■ (右) 肝動脈の切離 ■大血管の損傷			
集計		総得点	
胆嚢摘出術の評価項目 (点) + 炎症の強さ (点)		点	

*参考：M.P. Callery: Avoiding biliary injury during laparoscopic cholecystectomy: technical considerations. *Aur Endosc* (2006)20: 1654-1658

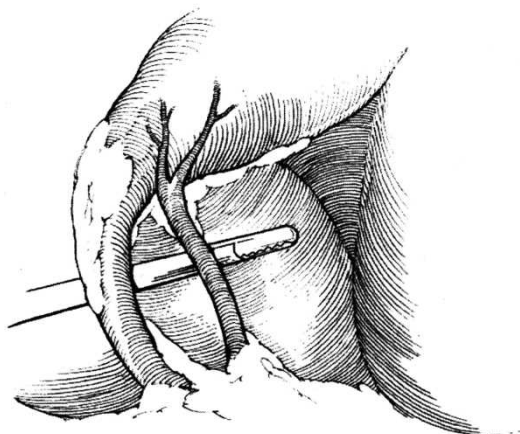


Fig. 3. The Critical View, according to Strasberg¹, provides a definitive anatomical clearance of Calot's triangle that assures the junction of the cystic duct and cystic artery with the infundibulum of the gallbladder.